様式３(2020.08改)

作成日　令和　3年　5月　6日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2374500516
事業所名	グループホームさくら・ひまわり

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し回覧板で情報を得ている。今年度は、コロナウイルスの影響で中止となっているが、例年では自治会主催の夏祭りや運動会に積極的に参加し交流を図っている。近隣の保育園児とは、敬老会や運動会などに相互訪問したり年間を通して様々な交流をしている。また、アコーデオンやバンド演奏のボランティアを受け入れたり、中学生の職場体験などを受け入れたりして地域に貢献している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	家族、地域住民、市職員の参加を得て年5回実施しているが今年度はコロナウイルスの影響で書面での開催となっている。例年では、事業所の運営状況や活動内容を報告したり外部評価の結果の報告や取り組みなどを伝え、参加者からの情報や意見、提案はその場で話し合ったり、職員会議などで協議し運営に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市の担当者が運営推進会議や施設行事に参加しているため施設の実情やケアサービスの取り組みなど常に報告や相談ができる体制にあり、良好な協力関係を築いている。市主催の研修会などは、コロナウイルスの影響でズームやオンライン研修に変更され受講している。また、管理者は地域ケア会議に参加し、居場所部会の委員として地域活動の手伝いをしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日々の関わりの中から要望などを聞くようにしている。家族からは面会時や行事などで気軽に話せる雰囲気を作ったり、電話などで意見や要望を聞くようにしている。今年はコロナウイルスの影響で行事などは自粛しているが、玄関先でのガラス越しの面会の他にライン連絡も取り入れている。意見や要望は、記録して会議等で話し合い、職員間で共有してケアや接遇などの改善に役立てている。毎月の通信に担当職員からのコメントを載せて家族に安心を届けている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

運営推進会議は新型コロナウイルス禍において書面での開催とし、会議録などを通して家族や地域との情報のパイプが途切れないよう努めている。面会は、玄関先でのガラス越しの面会の他にライン連絡、携帯など家族が対応できる方法で実施している。買い物やドライブなど個別の外出支援や、家族の協力を得て季節の花見やテーマパークなどの外出支援をしているがコロナ禍で踏み止まっている。中庭の広いウッドデッキで四季の変化が楽しめる木々や草花に囲まれてお茶会や日向ぼっこ、洗濯干しや落ち葉の掃除など自分ができることを楽しみながら行っている。食事は季節の旬の食材を取り入れた献立で毎食手作りし、毎週木曜日の「考えるメニューの日」には入居者の希望を聞いてお寿司を注文したり、鰻やちらし寿司、おやつなどを作り食べる楽しみに繋げ、美味しくいただき元気に過ごせるようにしている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										